

幼小連携のカリキュラムについての研究 ～「体育」「音楽」の領域を中心に～

白川佳子（初等教育学科・准教授）

東ゆかり（初等教育学科・准教授）

西島大祐（初等教育学科・講師）

1. 研究目的

幼小連携の問題が注目されている背景には「小1プロブレム」の問題があげられる。幼稚園や保育所から進級してきた小学1年生が新しい環境に適応できない原因の1つには、幼稚園と小学校の間に生じた「段差」と「連続」のつまずきがあると言われている。現在、幼小連携の取り組みは、保育者や教師間の交流や子ども同士の交流などさまざまなレベルで行われているが、まだ、幼稚園において小学校の教育カリキュラムまで視野に入れた保育がなされているとは言いがたい状況である。同じく、小学校でも幼稚園での保育活動についての理解が十分になされているとは言えない。本研究では、幼児期の「体育」「音楽」などの「楽しい遊び」が、小学校の教科における「知的好奇心」としての学習に発展していくための方法や課題について検討することを目的とし、幼稚園年長児から小学校低学年児までを縦断的な視点から研究を行うものとする。

2. 研究計画

(1) 平成19年度

- ①文献や資料等による先行研究の検討
- ②幼小連携の実践校への視察
- ③幼稚園における幼児の遊び観察
- ④幼稚園・小学校教諭へのインタビュー

(2) 平成20年度

- ①幼稚園における幼児の遊び観察
- ②小学校における子どもの観察
- ③幼稚園・小学校教諭へのインタビューやアンケート調査
- ④調査結果の入力

(3) 平成21年度

- ①幼稚園における幼児の遊び観察
- ②小学校における子どもの観察
- ③幼稚園・小学校教諭へのインタビューやアンケート調査
- ④調査結果の入力・分析
- ⑤研究報告書の作成

3. 研究の経過

(1) 研究会等への参加

- ①子ども環境学会2007年大会（横浜市開港記念会館）「幼児期の遊びの大切さ」
参加日：平成19年4月27日（金）
参加者：東ゆかり
- ②日本保育学会第60回大会（十文字学園女子大学）「幼小連携についての研究」
参加日：平成19年5月19日（土）～20日（日）
参加者：白川佳子、東ゆかり
- ③第7回子ども環境学セミナー「国内外の子どもの遊び場」
参加日：平成19年8月10日（金）
参加者：白川佳子、東ゆかり、西島大祐
- ④教育シンポジウム（名古屋国際センター）「新しい指導要領で求められる学力」
日時：平成19年8月26日（日）
参加者：東ゆかり

（2）幼稚園や小学校への視察と実践

- ①鎌倉女子大学幼稚部（年長クラス）
訪問日：平成19年4月20日（金）（ダンスや遊びの観察）
平成19年5月11日（金）（サーキット遊びの実践・指導）
平成19年6月29日（金）（リズム運動の実践・指導）
平成19年11月28日（公開保育）
平成20年3月4日（体力測定）
視察・実践者：西島大祐
- ②ぬるみず幼稚園（夏季保育）
訪問日：平成19年8月29日（水）9時～13時
視察者：白川佳子
- ③米国タフツ大学サマービル・コミュニティスクール
訪問日：平成19年8月31日（金）15時半～16時
視察者：白川佳子、東ゆかり、西島大祐
- ④米国ホワイトプレインズ・ナーサリースクール（日曜学校）
訪問日：平成19年9月2日（日）10時～11時
視察者：白川佳子、東ゆかり、西島大祐
- ⑤第2回ママ&パパ'sカレッジ（親子体操教室）
実施日：平成19年10月27日（土）13時～13時半、15時半～16時
実践者：西島大祐
- ⑥鎌倉女子大学学園祭 わいわいうきうきフェスティバル（親子体操教室）
実施日：平成19年11月11日（日）9時半～10時、10時15分～45分
実践者：西島大祐
- ⑦和光小学校（公開研究授業）
訪問日：平成19年11月23日（金）9時～10時半
視察者：白川佳子

(3) 幼小連携の実践者へのインタビュー

和光小学校 1年音楽担当の教員へのインタビュー

訪問日：平成19年12月7日（金）16時～17時半

訪問者：東ゆかり

4. 今年度のまとめ

近年、問題視されている「小1プロブレム」は、従来はおとなしく先生の指示に従っていた小学校1年生において、落ち着いて先生の指示に従うことのできない子どもが増加し、授業が成り立たないケースが出てきたというものである（平山,2007）。従来はおとなしく先生の指示に従うことができるということが一般的であったものが、なぜ、今日、先生の指示に従うことができないという状況が出てきているのだろうか。この点に関して、無藤(2007)は、子どもの心理発達を踏まえて幼・小・中の区切りがなされてきたが、最近の子どもにとってはその変化が大きすぎるという問題点をあげている。また、解決策として、「子ども同士の交流」、「教師の交流」、「カリキュラムの一貫性」をあげている。本研究では、「カリキュラム」の視点からの検討を試みているが、この点に関して、多くの先行研究において、幼児期の年長児では協働的な活動を大事にすることが小学校低学年において仲間との集団活動への適応につながることや幼児期の「芽生え」を小学校では意識して指導していくことの大切さが述べられていた。本研究では、カリキュラムの中でも特に「音楽」「体育」の領域を中心に考えていくが、今年度、「音楽」に関しては小学校1年生の音楽の授業を観察し、授業担当者へのインタビューを実施し、「体育」に関しては様々な年齢の体育活動に触れることにより、子どもの学びの実態を探った。これらの観察や実践をもとに、幼児期に育った「音楽」「体育」の芽生えが小学校教育の中にどのように意識的に指導されているのかについて研究を深めていきたい。

5. 今後の取り組み

今年度視察した国内外の施設については、今後も連絡を取り、より詳細な資料の収集やアンケート調査等を行っていきたいと考えている。体育の領域に関しては、近年、幼児の体力低下が社会問題になっているが、体育活動の実践を通して、幼児期から児童期の体力・運動能力の連続性に焦点を当てた研究を進めていくことも視野に入れている。また、来年度より幼小連携の実践校に対してアンケート調査を実施する予定にしているため、その事前準備として、今年度中に幼小連携を実践している幼稚園・小学校の教諭にインタビューをする計画を立てている。

本研究は、鎌倉女子大学学術研究所助成研究「幼小連携のカリキュラムについての研究—「体育」「音楽」の領域を中心に—」の平成19年度中間報告である。

引用・参考文献

- 1) 秋田喜代美・阪野芳枝・中村良子・吉山茂樹 学校段階間のなめらかな接続を図るために 初等教育資料1月号 32-45.
- 2) 林浩子 2008 幼小の交流活動から見えてくるもの —幼小連携におけるもう一つの意味— 保育学研究第45巻第2号 87-94.
- 3) 平成17・18年度東京都国公立幼稚園長会課題研究部 接続期の教育を円滑に進めるための

パートナーシップづくり 東京都国公立幼稚園長会

- 4) 平山大 2007 幼小連携・小中連携について 指導と評価第53巻2月号 日本図書文化協会9-12.
- 5) 小林宏己 2007 学びの連続性を踏まえた学校段階の教育の特質と指導 初等教育資料1月号 8-13.
- 6) 小林小夜子 2005 幼稚園・保育所・小学校における指導内容に対する指導者および保護者の認識の差異 乳幼児教育学研究第14号 157-165.
- 7) 小林小夜子・白川佳子・野崎秀正・森野美央 2006 幼稚園教諭・小学校教諭としての研修の機会と内容に関する全国調査 全国保育士養成協議会第45回研究大会発表論文集 194-195.
- 8) 小林裕子 2007 「交流」から「共に創る」へー幼小の連携のありかたー 日本保育学会第60回大会発表論文集 1098-1099.
- 9) 国立教育政策研究所教育課程研究センター 2005 幼児期から児童期への教育 ひかりのくに
- 10) 小谷宜路 2007 幼稚園教育と小学校教育の接続性に関する一考察(4) 日本保育学会第60回大会発表論文集 1094-1095.
- 11) 松井とし 2007 幼稚園教育と小学校教育との交流活動の在り方 初等教育資料12月号 8-13
- 12) 水内豊和 2007 特別支援教育における幼小連携の課題ー幼稚園管理職を対象とした質問紙による予備調査からー 日本保育学会第60回大会発表論文集 1346-1347.
- 13) 無藤隆 2007 幼小連携・小中連携の意義と今後 指導と評価第53巻2月号 日本図書文化協会 4-9.
- 14) 奈須正裕 2007 学びの連続性を考える 初等教育資料1月号 2-7.
- 15) 野原由利子・田邊光子・三神廣子 2007 小学校の教科学習の始期にむけて幼児期に形成すべき諸力について その(1) 算数ー生活と遊びおよび教具活動を通してー 全国保育士養成協議会第46回研究大会発表論文集 162-163.
- 16) お茶の水女子大学子ども発達教育センター 2005 幼児教育と小学校教育をつなぐー幼小連携の現状と課題ー
- 17) お茶の水女子大学附属幼・小・中学校 2007 幼・小・中接続期実践プラン集
- 18) お茶の水女子大学附属幼・小・中学校 2007 協同して学びを生み出す子どもを育てる
- 19) 太田光俊 2007 小中連携の実際 指導と評価第53巻2月号 日本図書文化協会 13-17.
- 20) 細田成子 2007 幼小接続期のつながりの工夫について 日本保育学会第60回大会発表論文集 1100-1101.
- 21) 斎藤律子・浅田学・佐藤佳子・大西理花子 2007 幼児と児童との互いに意味ある交流活動をめざして 初等教育資料12月号 32-45.
- 22) 佐々木宏子 2004 なめらかな幼小の連携教育ーその実践とモデルカリキュラムチャイルド社
- 23) 田中卓也 2007 保小連携教育と保育士の役割ー広島県福山市能登原保育所・能登原小学校を中心にー 全国保育士養成協議会第46回研究大会発表論文集 164-165.
- 24) 鳥光美緒子 2006 プロジェクト学習をてがかりとする幼小連携カリキュラムの開発に関する研究 平成15年度～17年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2)) 研究成果報告書
- 25) 若林富男 2007 幼稚園と小学校をなめらかに つなぐ 指導と評価第53巻2月号 日本図書文化協会 18-22.
- 26) 横井志保 2007 幼保・小の連携に関する研究(2)ー情報交換のスタンダード作りの試みー 日本保育学会第60回大会発表論文集 1102-1103.
- 27) 湯川秀樹 2007 就学前教育の特質を踏まえた小学校教育との交流活動の意義 初等教育資料12月号 2-7.